

令和7年度(2025年度) 兵庫県立西宮高等学校 学校評価一覧表

評価項目	重点目標	具体的取組	主な担当部署	旧番号	新番号	主な担当部署	項目	平均値									現状に対する分析	分析結果に対する方向性
								教職員アンケート			保護者アンケート			生徒アンケート				
								2025年	2024年	2023年	2025年	2024年	2023年	2025年	2024年	2023年		
信頼される開かれた学校づくり	保護者、地域との情報共有	ホームページ情報発信学校説明会	総務・単位制・学年	36-40	1	総務・年次・SS	(a) 年次通信・ホームページなどの情報発信がされ、学校・保護者との情報共有がなされている。	3.48	3.43	3.53	3.43	3.40	3.50	3.42	3.40	3.38	ホームページを中心に迅速な情報共有に取り組み、情報発信の格差を少なくするとともに保護者連携の充実を図る。学校説明会においては、本校生徒の様子を見てもらえるように、さらに生徒主体の学校説明会を目指す。	
	生徒、保護者との相談体制や環境の整備	教育相談学校安全環境整備人権指導	学年・保健・人権(管理職)	19-23	5	年次・保健・総務・生徒	(b) 生徒や保護者からの、主に学校生活や個人的な悩み等に関する相談体制が整っている。	3.23	3.27	3.23	2.96	2.88	2.91	3.02	2.93	3.02	カウンセリング時間の拡大は難しく、限られた枠を有効に活用する必要がある。3年次では進路担当との連携をより強化することが重要である。生徒・保護者の相談内容が複雑化しており、各部署の相談体制の連携をさらに図っていく。	
				8	6		(c) 教育目標や特色、または地域の期待に応じた学習環境整備がなされつつある。	3.10	2.93	3.13	3.09	3.02	3.02	3.08	3.22	3.04	地域清掃や小中学校での学習支援など地域貢献活動を行い、生徒の主体性やリーダー性を実感できる機会をつくっている。探究活動や国際経験の発表など社会的使命感を育む取組は適切に実施されている。教室の設備整備は進んでいる一方、WiFi環境は全員が一斉に使うには不十分で、ICT活用は今後さらに発展の余地がある。	
教育の質の向上	学習意欲を高める教育内容の展開	教育課程学習指導		24-25	7	教務・各教科	(d) 普通科・音楽科のそれぞれの特色を生かす教育内容が工夫されている。	3.22	3.08	3.27	3.09	3.04	3.00	3.30	3.02	3.20	授業への興味・関心を高める工夫やペア・グループ学習を継続している。音楽科では特色ある創造的な授業を行うためにも、基礎的な読解力・表現力の育成が課題であり、学習意欲を高める工夫をしていく。単位の特色を活かし、情報科や商業科の選択科目はさらに充実を図る。	
				21	9		(e) 定期的な補習や学力不足を補う補充授業など生徒の能力・適性・ニーズに応じた指導が行われている。	3.39	3.35	3.30		*	3.32	3.19	3.19	個々の生徒に応じた受験指導や補習・個別指導を行い、平常時・長期休業中・考査前など、必要に応じて補習を計画・実施している。学習アプリの活用や添削指導、質問対応なども行い、進路意識の高まりに合わせた支援を強化している。		
	教員の授業力、指導力向上				10-11	12	教務・各教科	(f) 授業は工夫されて生徒の興味関心を高め、学力向上につながるものとなっている。	3.26	3.25	3.30		*		3.12	3.25	3.14	専門家による金融教育や保育分野の指導、地域保育所との交流などを積極的に取り入れて興味関心を高めている。また、研究授業や職員研修により教員同士が授業スキルや教材を共有し、ICTを活用した双方向授業の工夫も進んでいる。
					26	20		(g) 最近の進路指導実績は、生徒・保護者の期待に応えるものになっている。	3.39	3.28	3.07	3.04	2.92	2.99	3.15	3.14	3.13	生徒・保護者ともに進路への取組意識は浸透し、自習室の活用も進んでいる。国公立大学の合格者数も増加した。進路講演会や大学模擬講義など生徒への支援は充実しているが、生徒・保護者が求める学力向上に応えるため、さらに改善が必要である。
					27	21		(h) 生徒や保護者からの、主に学習や進路に関する相談体制の整備や、適切な情報発信が行われている。	3.33	3.2	3.33	3.04	2.96	2.99	3.26	3.11	3.22	積極的な進路情報発信ができ、三者面談や進路HRなどを通して細やかな指導体制を整えた。生徒面談は頻繁に行われ、進路指導部により十分な情報が提供されている。また、進路通信を頻繁に発行し、受験準備や時期ごとの注意点を継続的に伝えた。
					27	22		(i) 進路意識を高める様々な授業(リサーチ I II・課題研究・年次集会・講演会・個別面談等)が有効・適切に実施されている。	3.36	3.3	3.37		*		3.19	3.18	3.16	リサーチや課題研究の授業は、生徒が興味関心のある分野を深く学び、進路決定に生かす機会となっている。年次集会では、進路に向けた取組を年間を通して継続的に実施した。
進路指導の整備、勤労観・職業観の育成	進路指導キャリア指導	進路・学年				(j) 人権学習や人権講演会など、人権を尊重した適切な学習が行われている。	3.20	3.13	3.30	3.04	2.90	*	3.28	3.10	*	全校人権学習での映画視聴も適切で効果的だった。人権HRや講演会では、自他の価値を尊重する学びを進めた。人権学習以外の場面でも多様性への理解を促す指導を行った。		
																	生徒・保護者のニーズに関して分析を続けて必要な対策を講じることが求められている。進路指導への期待は大きく、生徒だけでなく保護者にも共通理解を促し、学力向上と進路実績につなげる必要がある。学力層に関わらず個々の学力伸長を実感させることが重要で、補習や学習ソフトの活用を通じて自立的学習を促す。	
自主・自立の精神の育成	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上	清掃生活指導集団指導	生徒・総務・学年	16	24	生徒・総務・年次	(k) 生徒に対する諸規定(制服・頭髪等)の設定はほぼ適正である。	3.35	3.25	3.23	3.28	3.22	3.29	3.08	2.97	3.08	校則については、生徒の意見も取り入れながら、バランスの取れたものへと改善を図りたい。職員間の情報共有と指導の統一を進め、よりよい運用体制を整えていく。	
								(l) 清掃活動が計画的に行われ、校内美化意識が養われている。	2.97	2.77	3.03	3.16	3.14	*	3.17	3.15	*	掃除当番以外で校内美化への意識を高める取組は十分に進まなかった。今後は日常の清掃活動をより丁寧に行えるよう徹底するとともに、清掃が作業効率の向上にもつながることを生徒に伝えていく。老朽化が進む校舎や設備を大切に扱う意識を育てる指導は、今後も継続的に必要である。
	部活動、行事などの活性化	生徒会指導部活指導諸行事	生徒・学年	13	27	生徒・年次	(m) 学校行事(定期戦・文化祭・体育大会等)は活発に実施されている。	3.59	3.57	3.47	3.51	3.44	3.50	3.47	3.37	3.32	学校行事は理事会を中心に生徒主体で運営された。生徒が積極的かつ創造的に取り組み、悩み場面もあったが主体的に課題解決へ向かう姿が見られた。クラス内でさらに一体感を維持できるようにすることが課題である。	
17				28	(n) 部活動や生徒会活動は活発に実施されている。		3.55	3.63	3.37	3.44	3.45	3.50	3.51	3.50	3.51	部活動や生徒会活動が活発に行われ、文武両道を実践する生徒が多い。顧問業務の負担もあり、部活動により差が大きい。入部率は約8割で、全員入部を目指していく。部活動や生徒会活動において、疲労や不安、悩みを抱える生徒もおり、その都度フォローが必要である。		
							学校生活全般に関する満足度(10段階)	*	*	*	*	*	*	7.27	7.06	*		
							回答率	100.0%	82.2%	41.1%	91.9%	91.0%	53.7%	95.4%	91.7%	68.4%		

* は該当項目なし
 職員アンケート評価基準(4段階) 4達成できた 3概ね達成できた 2あまり達成できていない 1達成できていない
 保護者・生徒アンケート評価基準(4段階) 4そう思う 3どちらかといえばそう思う 2あまりそう思わない 1そう思わない